

平成 28 年度東洋学研究情報センター機関推進プロジェクトの実施報告書

(1) プロジェクトのタイトル 「東洋文化研究所パーリ語文献コレクションの目録作成」

(2) 申請研究者 馬場紀寿 東京大学東洋文化研究所・准教授

共同研究者 こども教育宝仙大学・准教授・林隆嗣

東京大学大学院人文社会系研究科・特任研究員・青野道彦

(3) 研究期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 (2 年間)

(4) プロジェクトの趣旨、全体計画・・・400 字以内。

今年度、東洋文化研究所に寄贈された約 2000 冊のパーリ語文献コレクションは、シンハラ文字版 (スリランカ)、ビルマ文字版、タイ文字版、クメール文字版 (カンボジア)、ラオ文字版 (ラオス) のパーリ文献を収める。本コレクションの目録作成は、これらの文字を読める研究者や学生の協力を仰ぐ必要がある。本研究プロジェクトによって、目録作成の謝金、資料整理の経費や、寄贈に当たって必要な郵送料を、本研究プロジェクトによって支出し、最終的には、東大図書館のデータベースへの図書情報への入力とともに、本コレクションの目録 (ウェブサイトでの公開を予定) を作成したい。これだけ完備したパーリ文献コレクションは、南アジア、東南アジア、欧米の一流大学にも類例を見ないため、たんに図書館への負担を減らすだけでなく、世界にアジア研究図書館を標榜する東京大学にとっても目録作成の意義は大きいと考えている。

(5) 今年度の研究実施状況

以下のようにプロジェクトを進めた。

7 月 パーリ語文献コレクションを東洋文化研究所に搬送

9～12 月 パーリ語文献コレクションの燻蒸作業。

1 月 図書の整理

1 月～3 月 シンハラ文字・ビルマ文字・タイ文字のパーリ語を読める研究者や大学院生による資料の整理、整理。平行して目録の作成

(6) 今年度の研究成果の概要

パーリ語文献コレクションの燻蒸作業に大幅な時間を取られたが、1 月以降、図書の整理と文献の目録作成を進め、コレクション全体の約半数の整理を終えた。来年度で図書の整理を完成し、カタログを HP で公開する予定である。